

古里 直子 講師
博士(看護学)

Naoko Furusato

✉ naoko.furusato@komatsu-u.ac.jp

研究
Keyword

NICU 早産児 看護師 ケア

プロフィール

2013年 富山大学大学院 医学薬学教育部(修士課程) 看護学専攻 修了
 2019年 富山福祉短期大学 看護学科 講師
 2025年 富山大学大学院 医学薬学教育部(博士後期課程) 看護学専攻 修了
 2026年 公立小松大学 保健医療学部 看護学科 講師

研究分野

生涯発達看護学

所属学協会

日本看護科学学会 日本母性衛生学会 日本新生児看護学会 看護ケアサイエンス学会

専門分野・研究分野

NICU 看護師が早産児の反応を観察しながら行うケア

本邦では、周産期医療体制の整備・充実や NICU における高度な医療技術、看護実践能力向上により、早産児の生存退院率は世界でも高いと報告されている。早産児とは、在胎週数 37 週未満で出生した児のことであり、在胎週数が浅いほど、体温調節や呼吸、消化機能など、からだの多くの機能の未熟性が高くなり、生存率が低くなる。NICU 看護師は、ハイリスク新生児の急性期、成長発達の支援など高度な実践能力を求められており、早産児の反応を見て判断し、ディベロップメンタルケアを行うことが必要である。国内の看護基礎教育では、小児看護学において NICU の看護を学ぶ範囲は少ないため、NICU 独自の看護実践能力を獲得するまでには時間がかかると考えられている。看護師が早産児の反応を観察しながら行うケアに関する研究を行い、看護の質の向上を目指している。

研究内容

早産児にケアを行う NICU 看護師の継続看護

1. 気管内吸引時における熟練看護師の技術

NICU 看護師の気管内吸引の技術的な優劣は、脳の発達が急速で感受性が高い早産児にとって今後の QOL を左右する要因の一つであると考えられている。気管内吸引を行う熟練看護師は、経皮的動脈血酸素飽和度低下や徐脈を回避できるように児の反応を観察し、胎児様姿勢に戻れるポジショニングやホールディングを行いながら気管内吸引のタイミングを見極めて、児の苦痛やストレスを軽減している。他にもいくつか技術やアセスメントを使用して、個別神経行動発達段階を踏まえあらかじめイメージされた気管内吸引のプロセスと呼吸機能の発達段階に応じた吸引カテーテルのなめらかな操作が示唆された。

2. 早産児のポジショニングの評価指標と適応される修正週数

言語的コミュニケーションが困難な早産児のポジショニングを安全に行うために、児の反応を捉えることができる評価指標が必要である。看護師は、修正週数 24 週以降の早産児に、State、Synactive theory に基づいたストレス行動観察、呼吸状態の評価指標を使用していたことから、これらの評価指標を用いてディベロップメンタルケアをめざす継続的教育プログラムが必要であると考えられる。

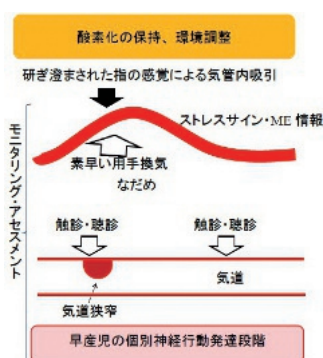


図1. 熟練看護師の早産児に行う気管内吸引の技術

シーズ・地域連携テーマ例

- NICU 看護師のケア技術
- 早産児のポジショニングの評価指標

論文

- 看護師が用いる早産児のポジショニングの評価指標と適応される修正週数に関する文献レビュー, 古里直子 他, 日本新生児看護学会誌, 29, 12-19, 2023
- 医療型障害児入所施設の退所に向けた医療者に対する親のニーズの構造, 古里直子 他, 富山大学看護学会誌, 17 (2), 13-22, 2018
- 人工呼吸器を装着している早産児の気管内吸引時における熟練看護師の技術, 古里直子 他, 母性衛生, 55 (2), 325-332, 2014

講演・口頭発表等

- 超早産児のケア経験を重ねるNICU看護師の思考の特徴ーエスノグラフィーを用いてー, 古里直子 他, 第45回日本看護科学学会学術集会, 2025年12月
- 人工呼吸器を装着している早産児の気管内吸引時における熟練看護師の技術, 古里直子 他, 第54 回日本母性衛生学会総会・学術集会, 2013年10月

こどもの反応を観察し
発達を支える